

一般社団法人 日本大ダム会議 / 一般社団法人 ダム・堰施設技術協会

第54回ダム技術講演討論会

一般財団法人 日本ダム協会

第80回『ダム施工技術』講習会

合同開催のご案内(Web併用)

◇と き 令和3年10月18日(月)・19日(火)

◇ところ 日本橋社会教育会館8Fホール (Web併用)

(東京都中央区日本橋人形町1-1-17)

開催趣旨

わが国のダム建設技術は、設計、施工、材料の各分野における技術の高度化などにより、世界に冠たる技術力を誇っております。しかしながら、わが国が人口減少時代を迎える中、さらなる技術開発や合理化施工が求められており、各ダム建設現場においては一層の研鑽が重ねられている状況にあります。さらに労働基準法が改正になり、ダム事業においても週休2日制の導入、超勤時間の短縮、技能労働者の収入の確保などの「働き方改革」の実現に向けた取り組み対応が急務となっております。

当協会ではこうした趨勢に鑑み、わが国のダム建設技術の発展に向け、官民を問わずより多くの技術者の方々に、より多くの研究例や設計・施工例を学んでいただくことを主眼として「ダム施工技術講習会」を開催してきました。

一昨年、広く受講生の参加を促す観点より、ダム技術関連他協会との一層の連携を図るべく当協会の「ダム施工技術講習会」と、日本大ダム会議とダム・堰施設技術協会共催の「ダム技術講演討論会」を合同で開催しました。本年も、10月18日、19日に共催で開催することといたしました。

当協会の「ダム施工技術講習会」は、最新のダム情勢、最新のダム技術を紹介しております。また、日本大ダム会議とダム・堰施設技術協会の「ダム技術講演討論会」では、日本大ダム会議の分科会報告並びに特別講演、ダム・堰施設技術協会からゲート等の最新技術が発表されます。これらは当協会としても、今後世界の市場に参入する際に必要となる技術並びにダム現場で必要な水門設備技術と考えております。受講される方々にとっては、この二日間の講習会は、国内での最新施工技術等を知ることができる良い機会となるでしょう。

国土交通省からは、「ダム事業をめぐる現状と今後の展望」として、最近の治水事業の動きや今後のダム事業の方向性を紹介していただきます。

また、今年はデジタル・トランスフォーメーション(DX: Digital Transformation)について特集します。DXについては、言葉としては聞いているが、内容に関して理解されている方は少ないと思われます。この講習会におきまして、新たなデジタル技術を利用した、インフラ分野のDXについて紹介します。すでに建設現場では、安全性の向上・生産性の向上を目指した遠隔臨場、3次元データ(BIM/CIMデータ)の活用による配筋検査・出来形検査などが開発され実用化されつつあります。最新のホットな話題を提供できるものと考えます。

是非、「ダム施工技術講習会」に多くのダム技術者の方々に参加下さいますよう、ご案内いたします。

第54回ダム技術講演討論会
第80回『ダム施工技術』講習会

プログラム

令和3年10月18日(月)・19日(火)
日本橋社会教育会館8Fホール

| | | |
|------------------------|--|---|
| | 10:00～10:15 | 開会挨拶 杉山 弘泰 一般社団法人 日本大ダム会議 会長 開会挨拶 工藤 啓 一般財団法人 日本ダム協会 専務理事 |
| 第1日 | 第1部 ダム技術講演討論会 | |
| | セッション 1 | |
| | 10:15～11:45 | 司会 柏柳 正之 一般社団法人 日本大ダム会議 専務理事 「日本大ダム会議 技術委員会分科会活動報告」 ● 既設ダムの合理的な活用・運用方策検討分科会パネルディスカッション ～最新の気象予測技術や気候変動適応策の活用による、治水と利水を高次に バランスさせたダム DX (合理的な活用・運用) の実現～ モデレーター:分科会委員長 角 哲也 氏 (京都大学) パネリスト:分科会幹事 松原 隆之 氏 (電源開発(株))、 道広 有理 氏 (一般財団法人 日本気象協会)、 竹下 哲也 氏 (国土交通省 国土技術政策総合研究所)、 木戸 研太郎 氏 (独立行政法人 水資源機構)、 島口 正嗣 氏 (関西電力(株)) |
| | 11:45～12:00 | 質疑応答 |
| | 12:00～13:00 | ————— 昼食休憩 ————— |
| | 13:00～13:30 | ● 「日英ダム技術用語辞典」改訂分科会 報告 分科会委員長 濱口 達男 氏、同幹事 伊藤 博 氏、同副幹事 尾寄 佳史 氏 質疑応答 |
| | 13:30～13:40 | セッション 2 |
| | 13:40～14:10 | 司会 安田 吾郎 一般社団法人 日本大ダム会議 常務理事 「特別講演」 ● 南摩ダム本体建設工事の概要 足達 謙二 氏 (独立行政法人水資源機構) 質疑応答 |
| | 14:10～14:20 | セッション 3 |
| | 14:20～14:50 | 司会 荒井 猛 一般社団法人 ダム・堰施設技術協会 技術部長 「ダム・堰施設技術協会 会員活動報告」 ● 天ヶ瀬ダム再開発 ゲート設備工事報告 坂上 幸謙 氏(日立造船(株))、沼澤 祐武 氏、高橋 剛 氏(株IHI インフラシステム) 質疑応答 |
| 14:50～15:00 | 質疑応答 | |
| 15:00～15:20 | ————— 休憩 ————— | |
| 第2部 「ダム施工技術」講習会 | | |
| セッション 1 | | |
| 15:20～16:20 | 司会 中野 朱美 一般財団法人 日本ダム協会 「日本ダム協会施工技術研究会 第4部会 活動報告」 ● 「激化する気候変動に備えた治水対策の強化と水力発電の増強」 (強化や増強に対するダムの可能性) 部会長 山本 與四朗 氏 「日本ダム協会施工技術研究会 第2部会 活動報告」 | |
| 16:20～17:30 | ● 「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト (P R I S M)」 試行結果報告と今後の実現場への展開について ～画像粒度解析技術を用いた CSG 材の品質管理(粒度水分量連続監視)システム～ 林 健二 氏、新井 博之 氏、長友 卓 氏 | |
| 第2日 | セッション 2 | |
| | 9:50～10:50 | 司会 中野 朱美 一般財団法人 日本ダム協会 ● 「ダム事業をめぐる現状と今後の展望」 国土交通省 水管理・国土保全局治水課 事業監理室長 笠井 雅広 氏 |
| | 10:50～11:50 | ● 「インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション施策」 国土交通省 大臣官房技術調査課建設生産性向上推進官 廣瀬健二郎 氏 |
| | 11:50～13:00 | ————— 昼食休憩 ————— |
| 13:00～14:00 | ● 「成瀬ダムにおける次世代建設生産システム A ⁴ CSEL 他」 ～土木の未来を体感できる「KAJIMA DX LABO」の紹介～ 成瀬ダム堤体打設 J V 工事事務所 所長 奈須野 恭伸 氏 | |

| | | |
|-----|-------------|---|
| 第2日 | 14:00～15:00 | ●「玉来ダムにおける現場管理システム「T-iDigital Field」の運用事例」 大分県玉来ダム建設事務所 技師 牧 浩平 氏 玉来ダム本体建設工事JV作業所 所長 我妻 敏昭 氏 大成建設(株)技術センター生産技術開発部スマート技術開発室 片山三郎氏 ———— 休憩 ———— |
| | 15:00～15:10 | |
| | 15:10～16:10 | ●「川上ダムにおける高速施工と情報化施工技術「ODICT」の適用事例」 川上ダムJV工事事務所 所長 上高 克弘 氏、 監理技術者 小俣 光弘 氏 |
| | 16:10～17:10 | ●「築川ダムにおける自動化技術の実装と施工管理の高度化によるDX推進」 築川ダムJV作業所 監理技術者 勝間田 哲郎 氏 |
| | 17:10～17:20 | 閉会挨拶 工藤 啓 一般財団法人 日本ダム協会 専務理事 |

*講演タイトルや講師等は、変更する場合があります。

*本講習会は(公社)土木学会認定の「継続教育(CPD)プログラム」です。



参加申し込み要領

受講料 日本ダム協会会員 ¥15,000円 非会員 ¥18,000円(税込)

*コロナ禍のため会場内へは先着80名までとします。それ以降の申し込み者は、Webでの参加となります。

Web会議システムでの参加の場合 日本ダム協会会員 ¥10,000円 非会員 ¥12,000円(税込)

なお、Web会議の場合、テキストはPDFで配布します。

申込方法 (1) お申し込み締め切りは10月11日(月)(必着)です。

FAX、または、メール(fujiwara@jdam.jp)にてお申し込み下さい。

(2) 受講料は銀行振込、または現金書留でご送金下さい。

*銀行振込 (一財)日本ダム協会普通預金口座
みずほ銀行築地支店 No.1426905
三井住友銀行築地支店 No.0920715

(3) 申し込みを確認次第、参加券をお送りします。当日ご持参下さい。

(4) 申し込み締め切り日以降の参加取り消しはお受けできません。

(5) 当日の昼食は、各自でご準備下さい。

会場 日本橋社会教育会館 8Fホール
東京都中央区日本橋人形町 1-1-17
TEL03-3669-2102

<交通機関>

地下鉄 浅草線、日比谷線 人形町駅(A2、A6出口から徒歩4分)

半蔵門線 水天宮前駅(8番出口から徒歩5分)

申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル
一般財団法人 日本ダム協会講習会係 TEL 03-3545-8361(代) FAX 03-3545-5055



キリトリ線

第80回『ダム施工技術』講習会参加申込書

| | | | | | | |
|--------|---------|------|-----|-----|-----|-----|
| 参加者氏名 | 勤務先・役職名 | | | | | 受講料 |
| 連絡先・住所 | 〒 | | | | | |
| 氏名 | TEL | 必要書類 | 請求書 | 見積書 | 納品書 | |
| Email | FAX | | 通 | 通 | 通 | |

上記の通り**受講料**は 月 日 (銀行振込、現金書留)にて送金します。

(注) 送金方法、送金月日は必ずご記入ください。